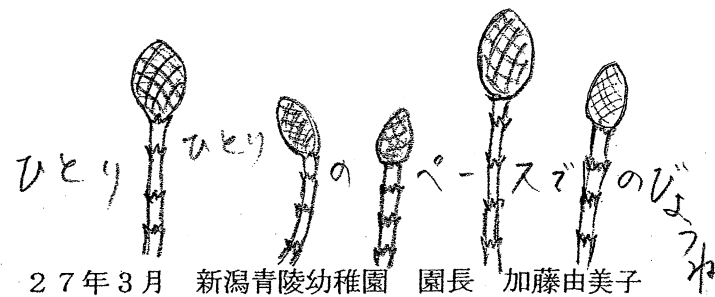


春休み のお願い



私ども、至らない点も多くあったことと思いますが、皆様から温かいお支えをいただきまして、おかげさまでこうして26年度の終わりを迎える事ができました。心から感謝申し上げます。

先日のこと、赤ばらの おとあ君が絆創膏を変えて欲しいといって職員室に泣きながらきました。どうやら、おとあ君が欲しい絆創膏がなかったようです…ご家庭でフアアの柔らかい 触り心地のよい絆創膏を貼ってもらっていたようで、それと同じものを張り替えて欲しいと泣いていたのですが、職員室では保育者たちが、同じものがないので、何とか分かってもらおうと、焦りながら説明していましたが…おとあ君もまた、とても困っていました。

そこで、おとあ君の目の前で 幼稚園の救急箱を開けて、箱の中にある絆創膏を4～5種類並べて「幼稚園にある絆創膏はこれとこれと…とあるけど、どれがいい？」と聞いてみました。おとあ君は救急箱のふたを開けた頃には すでに泣くのは止めていましたので、自分で、きちんと絆創膏を見比べて、白くて幅の太い絆創膏を手にとって「これ！！」と決めていました。そして指に巻いてもらって一件落着。

子どもたちの気持ちが崩れるのは、“大人が説得しようとする場合”に多いような気がします。子どもの思いを分かっている、けれど、“ない”あるいは“できない”状態ということを分かって欲しい…これは決して間違っていないのですが…

子どもに必要なのは、「ない」という説明ではなく、自分で納得することなのではないかと思うのです。おとあ君は、自分の意志、主体性を持っているお子さんでした。だから、自分で納得することが必要だったのですね。

自分の目で、数種類の絆創膏を見て「これ」と決める事ができたのは、自分で自分の気持ち収めた…妥協して、折り合いをつけることが出来たということなのです。この素晴らしい心の働き！！ たとえ小さい赤ばらさんでも、自己抑制をする心の働きを持っていますね。子どもたちが気持ちよく生活していけるように心がけていきたいと思います。自分の思いを表現できるおとあ君は素敵です…おとあ君のお母さんは、自己表現を大切に受けとめていらしたのでしょうか、だから おとあ君は自分の気持ちをきちんと伝えることができたのでしょうか。(泣いて表現することも、とても大事な表現なのです) 子どもたちの自己表現を受けとめるようにしていけば、やがて、きちんと言葉で自分の思いを伝える事ができる子どもに成長していきます。自己主張をきちんと受けとめて、主体性の芽をつぶしてしまわないようにしたいと思っています。

おとあ君の言葉に気づかされ、考えさせられたできごとでした。こんな風に私たち保育者は、いつも子どもたちに気づかせられ、考えさせられています。ありがたいことです。今後も真摯に、子どもたちの言葉に耳を傾けていきたいと思っています。新年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

4月の主な予定

- 9日(木) 始業式 **本今朝より新しいバス時刻表**で運行いたします。11:30 降園
- 10日(金) 入園式 在園児さんはお休みです(星の子もお休みです)
- 13日(月) 新入園児さん対象教育説明会 11:30 降園
- 14日(火) 父母の会役員選出の会 給食開始 2:00 降園
- 15日(水) 父母の会役員選出の会
- 20日(月) 青ばら1組学級懇談会
- 21日(火) 青ばら2組学級懇談会
- 22日(水) 白ばら1組学級懇談会
- 23日(木) 創立記念日お休みです。 星の子はあります、ご利用ください。
- 24日(金) 白ばら2組学級懇談会
- 30日(木) 誕生会

